



スーパームーン

10月17日は今年最も月が地球に接近する日です。今年一番距離が遠かった2月24日の満月に比べて、約14パーセント大きく見えるそうです。晴天であれば、今年一番の大きく明るい満月が観賞できます。また、先月の17日は『中秋の名月(十五夜)』でしたが、10月15日はその次に美しいとされる十三夜にあたります。こちらも晴天であれば、秋の名月を堪能する事ができます。十五夜は豊作を神様に願う中国伝来の風習がきっかけですが、十三夜は秋の収穫に感謝しながら美しい月を愛てる日本で始まった風習です。秋の稔に感謝しながら月を愛でてみては如何でしょうか。



ワクチン接種について

10月1日より、第8回目の新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンの定期接種が開始されています。対象となる方は「65歳以上の方」と「60歳〜64歳の方のうち対象要件を満たす方」となっております。さて、高齢者向けワクチン接種の説明には聞きたくない言葉が多く出てきます。市区町村からワクチン接種の案内が届いた時に、言葉に戸惑わないように、ワクチン接種の種類について説明していきたいと思っております。

定期接種と臨時接種は「予防接種法」に基づき国や自治体が主体となって行う接種で、任意接種は希望者が任意で行う接種のことです。臨時接種は、まん延予防上、緊急の必要性があると思われるときに、都道府県又は市町村が行う臨時の接種のことで、新型コロナウイルスのワクチンは臨時接種に該当します。

定期接種の対象疾病分類

A類疾病は、集団予防、および重篤な疾患の予防を目的としていることから、本人および保護者などに努力義務が発生します。B類疾病は、個人予防を主な目的としていることから、本人および保護者などに努力義務が発生しません。

高齢者対象のワクチン

定期接種となるワクチンは、「季節性インフルエンザ」「肺炎球菌感染症(高齢者)」「新型コロナウイルス」の3種類です。任意接種となるワクチンは、「带状疱疹(50歳以上)」「带状疱疹ワクチン」については別の機会に詳しく案内させていただきます。

インフルエンザワクチン

発熱、倦怠感、のどの痛み、頭痛などで発症し、気管支炎、肺炎などの合併症や脳症を起こして重症化することもある病気で、高齢者はインフルエンザから肺炎を起こすと死亡リスクも高くなります。あわせて、肺炎球菌ワクチンも接種しておくことと安心して接種希望者は早めの接種で予防効果を上げてくだ

肺炎球菌感染症ワクチン

成人の肺炎の約2〜3割は鼻やのどの奥に常在菌の肺炎球菌が原因と言われているとされています。加齢とともに体力や免疫力が低下し、日本人の死因で近年第3位から第5位に下がりはしまし



る病気で、冬に流行するインフルエンザの合併症で肺炎を起こすことも多く、入院や死亡リスクが高くなります。ワクチン接種については、かかりつけ医に相談しましょう。

定期接種は65歳時の一回のみですが、糖尿病、心疾患、喘息などの呼吸器疾患がある方、病気の治療で免疫抑制状態にある人などは、60歳から定期接種として受けることができます。(定期接種は生涯一回)

※65歳以上の方を対象とした経過措置は令和6年3月31日に終了していますが、任意接種として全額自己負担で接種することは可能です。また、件数は少ないですが助成金を出している市区町村もあります。

新型コロナウイルスワクチン

せきや発熱などの呼吸器症状が主な症状ですが、嗅覚や味覚障害、疲労感、記憶障害や集中力の低下などの後遺症が残る場合もあります。他のワクチンよりも発熱や頭痛、倦怠感などの副反応が高率で現れることがあります。数日で軽快するとされています。ワクチンの予防効果は高く、感染者数、重症者数の減少に寄与しています。しかし、ウイルスの変異によっては、ワクチンの感染、発症、重症化の予防に対する有効性が変動してしまう。そのため、必要に応じてワクチンの追加接種が実施されるなどの対応がとられます。

接種費用について

	インフルエンザ	肺炎球菌	新型コロナウイルス
山形市	2,000円	(4,000円)	(11,800円)
羽生市	1,000円	6,190円	3,260円
戸田市	1,500円	3,000円	3,000円
江戸川区	2,500円	1,500円	3,000円
藤沢市	1,500円	2,700円	2,400円
東大阪市	1,000円	3,000円	2,000円
春日市	1,500円	3,000円	3,200円
菊陽町	1,500円	3,200円	3,260円

【参考】
当社サービス事業所所在地での自己負担となる接種費用です。()表示の金額は自己負担に対する市町村の助成額となります。

